

平成29年10月25日
北陸地方整備局道路部

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス 道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス 第1回地域実験協議会を開催します！

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、道の駅など地域の拠点を核とする自動運転サービスの導入を目指し、今夏より順次実証実験を開始しています。

今回、主にビジネスモデルの検討を行うための道の駅（公募型）として選定された富山県南砺市の道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施に向けて、実験実施計画の検討や実験実施に係る関係機関との調整等を進めるため、「地域実験協議会」を設置し、その第1回会合を開催します。

■協議会の設置趣旨

道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス実証実験を円滑かつ効果的に実施するため、実験実施計画の検討、実験の実施及び実験結果の検証等を行うことを目的とする。

1. 日 時 平成29年10月27日（金） 11時～12時（予定）
2. 場 所 富山河川国道事務所
3. 議 事 ① 挨拶（南砺市長、富山河川国道事務所長）
② 実証実験の概要及び実験車両の説明
③ その他

※会議は、報道機関に限り、①挨拶 ②実証実験の概要及び実験車両の説明のみ公開とします。
※道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会HP
<http://www.hrr.mlit.go.jp/road/michinoeki/taira/taira-jidou-unten-index.html>
※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）のプロジェクトの1つとして実施するものです。

<問い合わせ先>

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課長 堀 尚紀
代表：025-280-8880（内4611） 直通：025-370-6742

<同時発表記者クラブ>

富山県政記者クラブ その他・専門紙

**道の駅「たいら」を拠点として自動運転サービス
地域実験協議会 委員名簿**

委 員	所 属
堀田 裕弘	富山大学 工学部 知能情報工学科 教授
青木 亮	東京経済大学 経営学部 教授
長田 知	富山県 観光・交通・地域振興局 総合交通政策室次長（地域交通課長）
江幡 光博	富山県 土木部 道路課長
山本 光一	富山県 砺波土木センター 所長
上口 長博	南砺市 市長政策部 担当部長
荒井 隆一	南砺市 ふるさと整備部 部長
出分 鉄夫	富山県警察本部 交通部 交通企画課長
専徒 勝司	富山県警察本部 交通部 交通規制課長
田子 雅博	南砺警察署長
野原 武次	道の駅たいら 駅長
池端 良公	南砺市観光協会 五箇山支部長
南田 実	平地域自治振興会 会長
福山 尚久	アイサンテクノロジー(株)MMS事業本部 3Dソリューション事業部部長代理
小山 浩徳	国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路調査官
福濱 方哉	国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所長
吉田 守利	国土交通省 北陸信越運輸局 自動車技術安全部 技術課長
田中 篤	国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局 支局長
桐山 孝晴	国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路研究官

《「道の駅」の概要》

- 設置者：南砺市（平村）
- 所在地：富山県南砺市東中江215
- 路線名：一般国道156号
- 道路管理者：富山県
- 整備手法：一体型
- 管理・運営者：財団法人 五箇山和紙の里
- 供用：平成8年10月
- 全体面積：約8,457m²

《全景写真》



《和紙工芸館 和紙の店》



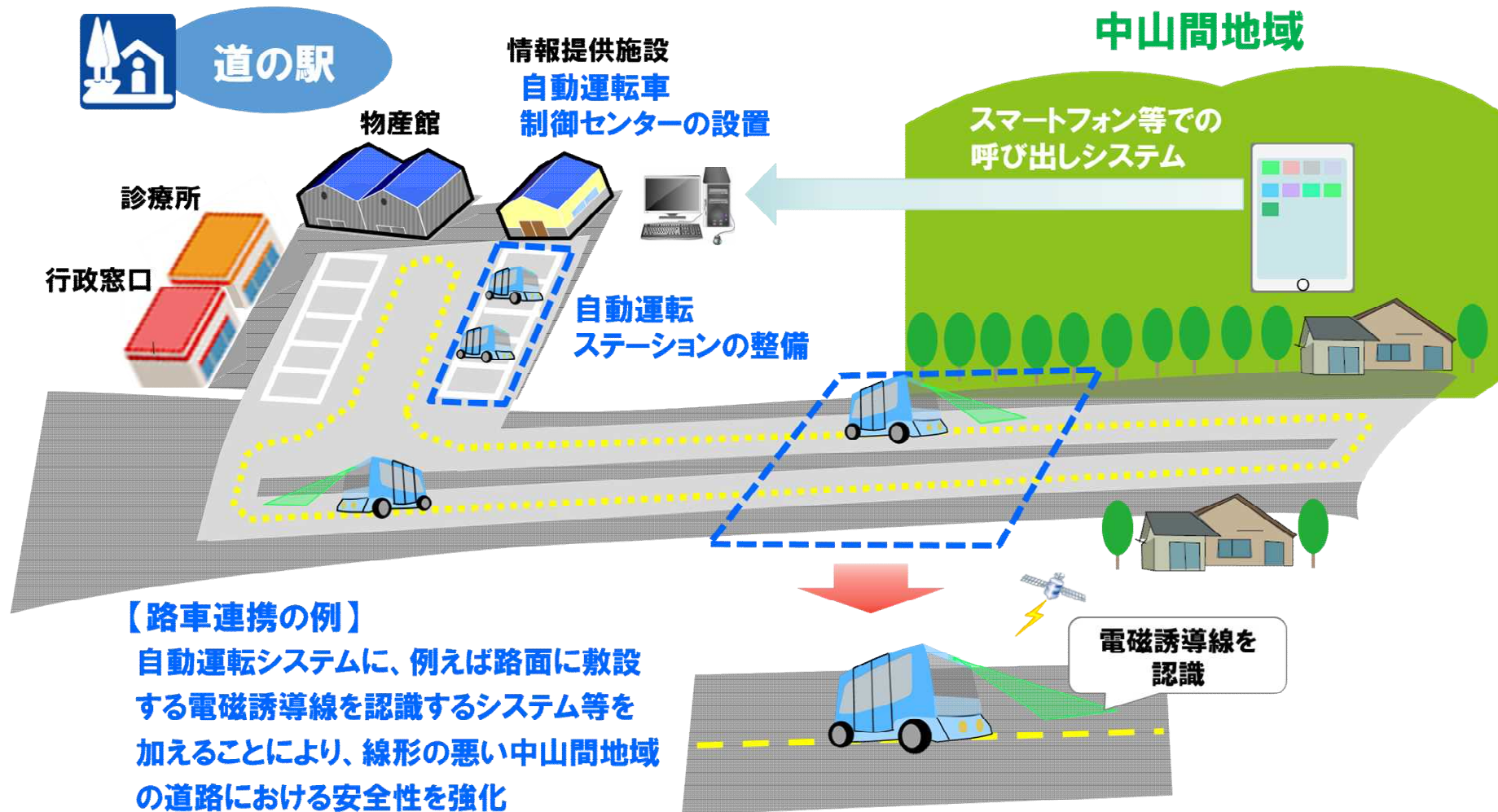
数々の和紙工芸品の展示と販売

《物産館》



赤かぶなど地元産品を販売

●高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



物流の確保
(宅配便・農産物の集出荷等)

貨客混載

生活の足の確保
(買物・病院、公共サービス等)

地域の活性化
(観光・働く場の創造等)

全国13箇所で順次実験開始(9/2~)